

1 主題名 友達のよさを知る 2 (3) 信頼友情

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本主題は、第3学年及び第4学年の内容項目2 (3)に位置付けられ、「友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。」ことをねらいとしている。

中学年の児童は、気の合う友達同士で仲間をつくって自分たちの世界を確保し、楽しもうとする傾向がある。そのため、だれとでも仲よくしなければならないことはわかっているが、自分の利害に基づく衝突も強くなる。また、性を超えて仲よく楽しく過ごしている場面もよく見られる反面、ときに、「男だから」「女だから」とこだわりをもってしまい、人間関係がうまくいかない場面もみられる。

そこで、友情の大切さを理解するとともに、友達のよいところを認めながら、助け合い励まし合おうとする心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態について (14人)

学級の雰囲気は明るく、学級の諸活動や学習にも積極的に取り組める児童が多い。また、自分の意見や考えをきちんと話せる児童多いが、それが独りよがりのものや自己中心的なものになる場面もみられる。

実態調査 (調査人数14人 10月14日調べ)

1	友達がいてよかったと思ったことがありますか。
	ある 14人 たまにある 0人 あまりない 0人 ない 0人
	(どんなときに思ったか)
	・一緒に遊んだとき ・誰かとけんかしているとき
	・何かを教えてもらったとき ・なぐさめてもらったとき
	・励ましてもらったとき
2	友達がいけないことをしているとき、注意やアドバイスができますか。
	できる 5人 時々できる 5人 できない 4人

以上の実態調査から、全員の児童が「友達がいてよかった」と思ったことがあり、友達のよさを感じていることがわかる。友達がいてよかったと思う場面として、「なぐさめてもらった」「励ましてもらった」というような精神的な支えになってもらった場面を思い浮かべた児童もいた。このことから、望ましい友人関係を築いている児童もいると考えられる。しかし、「友達がいけないことをしているとき、注意やアドバイスができるか」という問いには、「できない」と「時々できる」という回答が大部分を占めた。仲よくしているものの、友達の成長を願ってアドバイスすることは、しにくいことがわかる。

このような実態から、友達を理解し、相手の成長を願って助け合うことの大切さを実感させることが大切である。さらに、友達を思う気持ちだけではなく、友達の思いに答えることの大切さも気付かせる必要がある。これら相互のかかわりを通して、信頼し合い、アドバイスし合って、助け合う友達関係築いていこうとする心情を育てることが大切だと考える。

(3) 資料について（資料名 「ぼくらだってオーケストラ」 東京書籍）

市の連合音楽会に参加することになった4年生のてつおは、楽器が苦手ながらリコーダー担当になった。上手に吹けないてつおに、なつみが親切に教える。しかし、そのことに抵抗あるてつおは、始め知らんぷりをしているが、いつの間になつみの心がわかるようになるという内容である。

なつみの行為をおせっかいだと感じ、疎ましく感じていたてつおは、最後には「逆上がりを教えてあげよう」と思うまでに、なつみへの信頼が育っていく。このてつおの心の動きを共感的にとらえることを通して、仲よく励まし合い、助け合うことの大切さを感じ取らせ、ねらいとする価値に迫りたい。

3 本時の指導

(1) ねらい

友達と互いに理解し合い、助け合おうとする心情を養う。

(2) 準備・資料

資料プリント、場面絵、短冊カード、ワークシート

(3) 展開

主な活動と発問 (中心発問：◎)	予想される児童の反応	教師の支援・評価 (評：評価)
1 行方市音楽会に向けて練習していたときの感想を発表し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・練習が大変だった。 ・協力してできた。 ・3年生と一緒にがんばった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽会に向けて練習していたときの気持ちを発表し合い、本時の方向付けとする。
2 読み物資料「ぼくらだってオーケストラ」を読み、話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> ・てつおの気持ちの変化に沿った場面絵を示し、てつおの気持ちを中心に話し合うことを確認する。
○ 「右手の小指、あなが半分あいている」となつみに言われたてつおはどんな気持ちだっただろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・いちいちうるさいな。 ・ちょっとくらい上手いからってえらそうだな ・自分は逆上がりができないくせに。 ・ちゃんと押さえると吹けるかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達のアドバイスを素直に聞くことができないてつおの気持ちに共感できるようにする。 ・ペアでの意見交換の場を設定し、考えを深められるようにする。
○ なつみのアドバイスをもとに練習を続けるてつおはどんな気持ちだっただろう。	<ul style="list-style-type: none"> ・なんか上手く吹けそうだ。 ・なつみさんの言ったとおりやるとうまくできるな。 ・だんだん上手になるとうれしいな。 ・なつみさんが教えてくれるからがんばろう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・練習する二人の役割演技を通して、友達の違いに答える大切さに気付くようにする。 ・演技の途中で演技者に気持ちを聞き、学級全体で登場人物の心情を共有できるようにする。 ・自分の体験と重ねて表現するよう助言する。

◎ てつおはどんな気持ちから逆上がりを見せてあげようと思ったのだろう。

- ・ なつみさん，ありがとう。
- ・ 何かお礼をしたいな。
- ・ なつみさんにぼくもお返ししたいな。

- ・ ワークシートに考えをまとめる時間を確保する。
- ・ 多くの児童に発言の機会を与え，多様な考えに触れられるようにする。
- ・ 友達の成長を願うなつみと友達に答えようとするてつおの心情の双方向性に気付けるようにする。

3 今までの自分を振り返る。
「友達っていいなあ。」と思うことはありますか。

- ・ 困っているとき助けてくれた。
- ・ 一緒に遊んでくれる。
- ・ 寂しいときに声をかけてくれた。

評 友達と互いに理解し合い，助け合おうとする気持ちをもつことができたか。(ワークシート，発表)

- ・ 励まし合う心が自分たちにもあることに気付くことができるようにする。
- ・ 友達へのメッセージカードを用意し，友達に感謝の気持ちを伝えられるようにする。
- ・ メッセージカードのやり取りを通して，自分のよさに気付くことができるようにする。

4 教師の説話を聞く。

- ・ 心のノート(P. 42, 43)を紹介する。

心のまど

4年
名前 _____

☆ふりかえりコーナー

「友達っていいなあ」と思ったときのことを思い出してみましょう。

※ てつおのように友達にお礼がしたくなったら、前にあるカードに書きましょう。
書けたら先生にわたしましょう。(先生からその人にわたします。)

☆今日のじゅ業の感そう(今の気持ち)を書きましょう。

【あしたからの自分へのメッセージ】